

~~~~ 当日のプログラム ~~~~

【1日目】10月13日（土） 会場:市地域医療センター2階講習室

| 時 間         | 内 容                                             | 時 間         | 内 容                      |
|-------------|-------------------------------------------------|-------------|--------------------------|
| 9:30~10:00  | 受付                                              | 13:00~13:05 | 市長あいさつ                   |
| 10:00~10:05 | 開会、主催者あいさつ                                      | 13:05~13:40 | テーマ：人の健康<br>情報提供、役割分担の決定 |
| 10:05~10:10 | 討議会開催の趣旨説明                                      |             |                          |
| 10:10~11:00 | 討議の進め方、市の概要、総合計画について                            | 13:40~15:30 | 討議                       |
|             |                                                 | 15:30~15:35 | （休憩）                     |
| 11:00~12:00 | 講演：国士舘大学 平石正美教授<br>テーマ：市民社会を確立するための<br>制度設計の考え方 | 15:35~16:15 | 発表（各班5分）                 |
|             |                                                 | 16:15~16:25 | 平石教授による講評                |
|             |                                                 | 16:25~16:30 | 事務連絡、解散                  |
| 12:00~13:00 | （昼食）                                            |             |                          |



【2日目】10月20日（土） 会場:勤労福祉会館3階ホール

| 時 間         | 内 容                       | 時 間         | 内 容                       |
|-------------|---------------------------|-------------|---------------------------|
| 8:30~9:00   | 受付                        | 13:20~13:55 | テーマ：社会の健康<br>情報提供、役割分担の決定 |
| 9:00~9:05   | あいさつ、日程の確認                |             |                           |
| 9:05~9:40   | テーマ：まちの健康<br>情報提供、役割分担の決定 | 13:55~15:35 | 討議                        |
|             |                           | 15:35~15:40 | （休憩）                      |
| 9:40~11:20  | 討議                        | 15:40~16:25 | 発表（各班5分）                  |
| 11:20~11:25 | （休憩）                      | 16:25~16:35 | 平石教授による講評                 |
| 11:25~12:10 | 発表（各班5分）                  | 16:35~16:40 | 主催者あいさつ                   |
| 12:10~12:20 | 平石教授による講評                 | 16:40~16:45 | 事務連絡、閉会                   |
| 12:20~13:20 | （昼食）                      |             |                           |



● 今後の取り組み ●

この市民討議会で頂いた内容は、市民参画で得た貴重な意見としてとりまとめ、後期基本計画を検討・作成するための重要資料として取り扱います。

問合せ先  
大和市 政策部 総合政策課 総合計画担当  
電話：046-260-5350（直通）



大和市イベントキャラクター「ヤマトン」

# やまと市民討議会 開催結果

## 「第8次総合計画・後期基本計画」の策定に向けて『やまと市民討議会』を開催しました！

大和市の将来都市像「健康創造都市 やまと」を実現するための後期基本計画（平成26～30年度）策定に向け、平成24年10月13日（土）、20日（土）の2日間にわたって、『やまと市民討議会』を開催しました。これは、サイレントマジョリティと呼ばれる、市に意見を述べる機会の少ない人たちの意見を伺うために、市が企画したものです。



無作為に抽出した18歳以上の市民3,000人に参加案内を送付し、その中から応募のあった27人に参加していただきました。また、市内の高等学校のうち4校から13人の生徒も参加。若者ならではの発想で意見を述べてもらうことにより、一般の方々も良い刺激を受け、討議会全体が活性化されました。さらに、本市の若手職員16人も、行政のプロとしての能力アップのため参加しました。

~~~~ 講演 市民社会を確立するための制度設計の考え方 ~~~~

国士舘大学政経学部
教授 平石 正美氏に
講演していただき
ました。



日本人の社会性が変わって
きた要因は…？

これからの地方自治
のあり方とは…？

【重要な視点】

- ① 今までとは異なる新たな視点からのコミュニティの活性化、ネットワークの再構築
- ② 市民参加の枠組みの再設計
- ③ 共感や連帯感を実現できる社会の形成

《市民討議会に参加して…（参加者のうち34人の方からの回答）》

- ・市内各地域のいろいろな年代の方々と話すことができて楽しかった。（50代女性）
 - ・これで終わりではなく、市民参加の討議会を続けてほしい。（60代女性）
 - ・「地域力」が、今後は必要なのだと実感できた。この討議会をきっかけに「気軽に何かに参加してみよう！」という気持ちが芽生えた。（30代男性）
- など多数の感想が寄せられました。
また、参加して「良かった（29人）」「まあまあ良かった（5人）」と大変肯定的な感想をいただきました。

3つの「健康」をテーマに各グループで話し合っていました！！

人の健康

主要課題

対応方針・解決策

①心身の健康について

- ・緊急医療体制の向上
- ・検診への参加
- ・地域の活性化や環境の美化

- ・医師の増員、夜間対応の拡充
- ・楽しみをもって参加できるように 他
- ・自治会への参加や緑を増 他

- ・医療サービスの宣伝
- ・病気について相談しやすい環境づくり
- ・人との交流（声かけ）

- ・掲示板、回覧板等で周知
- ・他人との壁をなくし、親近感を醸成する 他
- ・交流の場を増やす

②高齢者、障がい者などへの支援について

- ・誰もが暮らしやすい環境づくり
- ・助けあいの地域づくり
- ・弱い立場の方の視点に立ったサービスづくり

- ・緑の保全・活用、施設の利便性の向上
- ・ネットワークづくり 他
- ・弱い立場の方に配慮できるよう職員等の質を向上する

- ・福祉情報の入手方法
- ・高齢者の生きがい活動の活発化
- ・民生委員・介護施設の不足

- ・相談窓口の一本化、情報提供の多様化
- ・若い世代の自治会入会を促進 他
- ・不足補充のための予算化

③子育て支援について

- ・行政が子を預けたい親のニーズに対応できていない
- ・施設やサービスはあるが利用されていない
- ・安心して子どもを外で遊ばせられない

- ・保育施設、行政とボランティアの連携
- ・サービス提供の方法を工夫する 他
- ・昔からの公園や広場を点検整備する

- ・地域で子育てを助ける仕組み
- ・世代を超えたコミュニケーションの機会づくり
- ・子育てにはお金が必要

- ・子どもあずかり隊をつくる 他
- ・自然教室での多世代間コミュニケーション
- ・予防接種の助成金を増やす

④学校教育について

- ・人づくり
- ・いじめ問題

- ・声かけ運動、スポーツ教育 他
- ・教育現場の体制、地域活動による教育

- ・先生がいじめの実態を把握できていない
- ・通学路で交通ルールが守られていない
- ・図書館の見た目が入りづらい

- ・生徒が気軽に相談できる場所を増やす 他
- ・定期的に交通安全教室を実施する 他
- ・図書館をもっとおしゃれにする 他

まちの健康

主要課題

対応方針・解決策

⑤安全安心を感じる生活について

- ・防犯対策の強化・充実、朝方の防犯対策
- ・道路事情
- ・自治会活動の弱体化

- ・地域みんなで防犯 他
- ・車と人との共存 他
- ・主婦、退職世代の参加 他

- ・静かな(騒音のない)暮らし
- ・地域の取り組み

- ・基地をなくす、移転
- ・世代を超えた地域でのコミュニケーション
- ・地域・行政共に取り組む 他

⑥快適で利便性の高い街づくりについて

- ・コミバス運行の効率化
- ・自転車道の整備と乗車マナーの向上
- ・小規模公園の再生・整備

- ・「のりあい」の利用を検討
- ・自転車の乗り方教室の開催など
- ・市と各自治会で話し合いを行う

- ・公園・農地の有効活用

- ・使用されていない農地・緑地を子どもたちに開放 他
- ・使いやすさをリサーチする 他
- ・市民討議会の開催 他

⑦環境への配慮やまちの緑化について

- ・遊休農地の有効活用
- ・美化運動の積極化
- ・CO₂の削減

- ・民間組織への提供 他
- ・住民同士の声の掛け合い 他
- ・コミュニティバス（のろっと）の増加（台数・ルート） 他

- ・自然との共生をテーマにした街づくり
- ・ごみの減量化

- ・ランドデザインの明確化
- ・市内企業による過剰包装の低減化 他
- ・市独自の排水基準を設定 他

- ・ごみが多くて害虫が多い
- ・タバコのポイ捨てが多い

- ・害虫・害獣駆除 他
- ・市のルールをパンフレットにして配る 他
- ・地域で管理する花壇をつくる 他

- ・緑が少ない

社会の健康

主要課題

対応方針・解決策

⑧豊かな心を育む生涯学習、文化活動について

- ・大和らしい伝統の掘り起こし
- ・図書館や文化施設の充実
- ・スポーツ施設の充実

- ・郷土史家、趣味のサークル等の活用
- ・量より質の充実 他
- ・なでしこ（女子サッカー）に特化する 他

- ・地域人材の活用

- ・地元の文化人等による勉強会・講演会
- ・図書室のアップグレード 他
- ・広報誌が市民全員の届くような制度づくり 他

⑨まちの活力や賑わいについて

- ・交流の盛んなまちづくり
- ・魅力ある商業が栄えるまちづくり
- ・地域に根付いた会社が育つまちづくり

- ・メディアへの露出、PRの強化 他
- ・駅前等の商業地域の環境整備
- ・会社設立のサポート体制の確立 他

- ・市内産業の活性化
- ・厚木基地を核とした多文化共生
- ・世代間や地域と行政などの連携強化

- ・産業ツアー 他
- ・お互いの名産品を伝え合う 他
- ・老若男女が参加できるお祭りの創出 他

⑩大和の魅力のPRについて

- ・ヤマトンのアピール
- ・女子サッカー
- ・厚木基地

- ・ヤマトンの恋人募集 他
- ・なでしこメンバーと交流できるイベント 他
- ・弱みを強みにしてPR材料に

- ・情報量が少ない、情報多様化
- ・自然環境整備
- ・魅力的な企画

- ・情報発信源の一本化 他
- ・整備を続けられる体制づくり 他
- ・市民参加型イベント 他

- ・ヤマトン
- ・市の知名度が低い
- ・若い子向けのものがない

- ・ヤマトンに特徴を付ける 他
- ・芸能人をイベントに呼ぶ 他
- ・レジャー施設をつくる 他

